

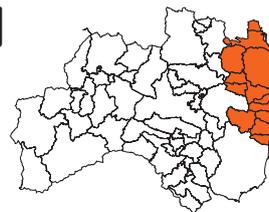
【相双コース】



「みんなで考えよう!! 地域医療のこと」

～相双地域の“今”を見て！聴いて！

感じて！ください～



【期日】 平成26年8月27日(水)～29日(金) 2泊3日



富岡町大玉仮設診療所にて

研修の概要

○ 研修の趣旨

東日本大震災により県内で最も大きな被害を受けた相双地域の医療や復興の現状について、医療機関や被災地の視察及び地域住民との交流等を通して、理解を深めていただきます。

○ 主な研修の内容

1 地域医療現場の視察

地域医療現場の視察や病棟体験を通して、被災地における医療の現状と課題等を学びます。

2 医療従事者等との懇談会

医師等から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行います。

3 被災地の視察及び地域住民との交流

被災地の現状や復興状況の視察及び仮設住宅入居者との交流を通して、地域の実情について理解を深めます。

過去の研修風景



医療機関視察



医療従事者等との懇談



地域住民との交流



津波被災地視察

アピールポイント

- 1 震災の影響により、今もなお厳しい環境に置かれている相双地域の医療の現状を学んでいただきます。
- 2 被災地域の視察を通して、相双地域の復興の現状を学んでいただきます。
- 3 相双地域の水産物など旬の味覚を堪能できます。

地域医療体験研修参加者の声

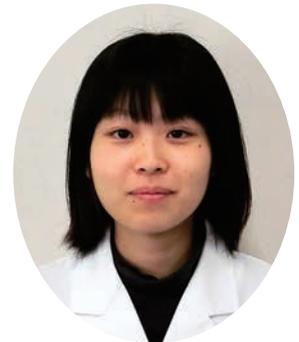


この研修を通して私がかもっとも印象に残っていることは富岡町仮設診療所の訪問です。診療の現場も見学させていただきましたが、患者さんの多くは仮設住宅暮らしによる運動不足や精神的苦痛が深刻なようでした。そのような患者さんに対し、お医者さんはとても丁寧に診療を行っており、私もそのような医師になりたいと強く感じました。1日も早く少しでも多くの方々が震災以前の生活を取り戻せればと思います。

この研修では多くの医学生と交流できることも魅力です。様々な大学、学年から多くの方が集まります。また、予備知識も全く要りません。少しでも地域医療、災害医療に興味があれば十分楽しめます。普段の机上の勉強では学べないこともたくさん学べます。また、普段の勉強に対するモチベーションも上がります。是非参加してみてください！

仮設住宅は何度か見せていただいたことがありますが、大人2人～3人が暮らすにはとても狭く、運動不足になることが容易に想像できます。仮設の診療所はありますが、診療の曜日や時間は限られており、仮設住宅に住む方々が健康面でも大きな不安を抱えていることが肌で感じられました。

震災時は他県の医療機関とも連携することや、仮設住宅の設置の段階から医療設備も組み込むことなど、これから医療人として取り組まなくてはいけない課題が見えてきました。新しい病院も建設され、また、いちごや海鮮料理などの食べ物もおいしく、相双地区の復興は着実に進んでいます。私は福島出身で将来は福島の医療に関わりたいと考えているので、今回の研修で相双地区の医療にとっても興味を持ちました。



行程表

| 日程 | スケジュール | 食事の有無 | 宿泊 |
|----------|---|----------------------|---------------|
| 8月27日(水) | 9:45 10:15 10:15~11:00 13:00~14:00 14:15~17:00 17:30~19:00 福島駅西口 福島県立医科大学 オリエンテーション 広野町の復興状況の講話 高野病院の視察、病棟体験 医療従事者等との懇談・夕食 | 朝(×) 昼(○) 夜(○) | ランドホテル いわき |
| 8月28日(木) | 9:20~9:35 10:00~11:45 13:15~14:30 15:15~16:45 17:30~18:30 南相馬市内(津波被災地)の視察 東北電力原町火力発電所の視察 借上住宅住民との交流 渡辺病院の視察 課題研究 | 朝(○) 昼(○) 夜(○) | 旅館かんのや |
| 8月29日(金) | 8:30~10:30 10:45~13:00 15:00 15:30 研究発表 相馬市内視察 福島駅西口 福島県立医科大学 | 朝(○) 昼(○) 夜(×) | |

※ 夏の自由通行に向けて、現在、除染作業中である国道6号線の避難指示区域内を通過する行程ですので、あらかじめご了承の上、申し込みをお願いします。